

高齢者や障がい者への対応品質向上のための ユニバーサルマナー検定団体受講について

株式会社プローバは平成28年12月16日(金)に、広島県のアミューズメント施設では初の試みとなった、高齢者や障がい者への対応方法を習得するユニバーサルマナー検定を社内の設備を利用し、団体受講致しました。

ユニバーサルマナーとは、一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会(大阪府大阪市、代表理事:垣内俊哉)が提唱する、自分とは違う誰かのことを思いやり、適切な知識の下、サポートをさりげなく実践することを意味する造語です。同検定 3 級では、障害のある当事者講師による講義の受講を通し、ユニバーサルマナーのマインドや基本なお声がけ方法を習得し、2 級では、実際に車いす・アイマスク・高齢者体験キットなどを使用した実技指導を通して、実践的なサポート手法を習得しました。実技を体験した受講者は、階段の上り下りなどが想像以上に難しい事を知り、改めて自社設備の見方も変わったという声もありました。

このユニバーサルマナー検定は「NEWS ZERO」でも取り上げられ、認知度も高まってきております。当社はこの検定を導入し、社内で活用する事で高齢者や障がい者などすべてのご利用者が安心できる店舗として、より快適に過ごしていただける店舗の実現を目指します。

【開催概要】

日程	平成 28 年 12 月 16 日(金)
場所	プローバグループ本社(住所:広島市安佐南区相田一丁目 1 番 33 号)
内容	ユニバーサルマナー検定(3級、2級講義)
参加者	プローバグループ社員 30名参加
協力企業	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人ユニバーサルマナー協会 ・株式会社ミライロ ・株式会社アンツデザイン

【講師紹介】



原口 淳 様

株式会社ミライロ 講師

一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会 講師

1988 年兵庫県南あわじ市生まれ。生まれつき、視覚障害(全盲)がある。小学校から高校までを盲学校で過ごした後、追手門学院大学に進学、2010 年卒業。盲学校在学時に放送部に所属し、一般の学生も参加する放送コンテストのアナウンス部門で全国大会に進出。2003・2004 年「夏の全国高等学校野球選手権兵庫県大会」の式典アナウンスを担当した。2009 年からはパラリンピック正式種目であるブラインドサッカーを始める。現在も現役プレイヤーとして地元兵庫県のクラブチーム「兵庫サムライスターズ」で活動する傍ら、小中学校を中心にブラインドサッカーの普及活動も行っている。2011 年より株式会社ミライロに入社。視覚障害者の視点から、教育機関や企業に対してユニバーサルデザイン化のコンサルティングや講演活動を行っている。

【講義の様子】



原口講師による、自身の体験談も交えた講義。



全盲体験。絵の特徴を口頭で説明。



高齢者疑似体験の器具を装着。



器具を装着し、高齢者の目線や建物内の辛苦体験。



車いす体験



車いすで段差を昇降する事は大変だった。